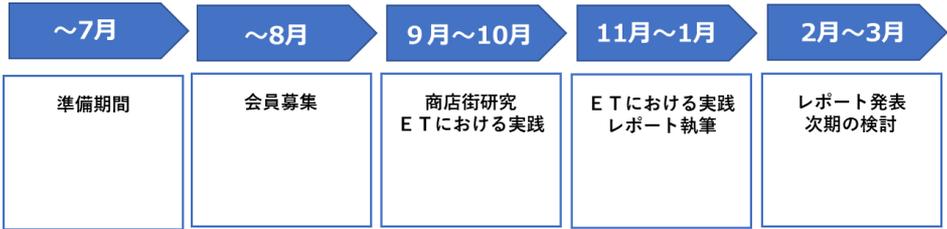
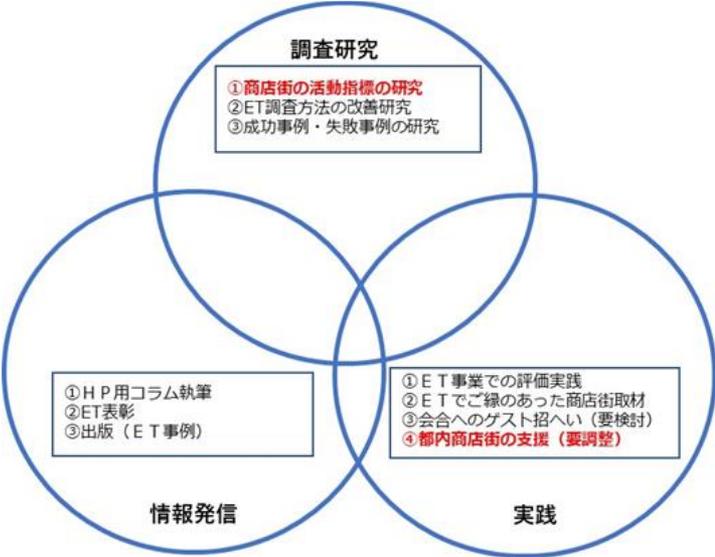
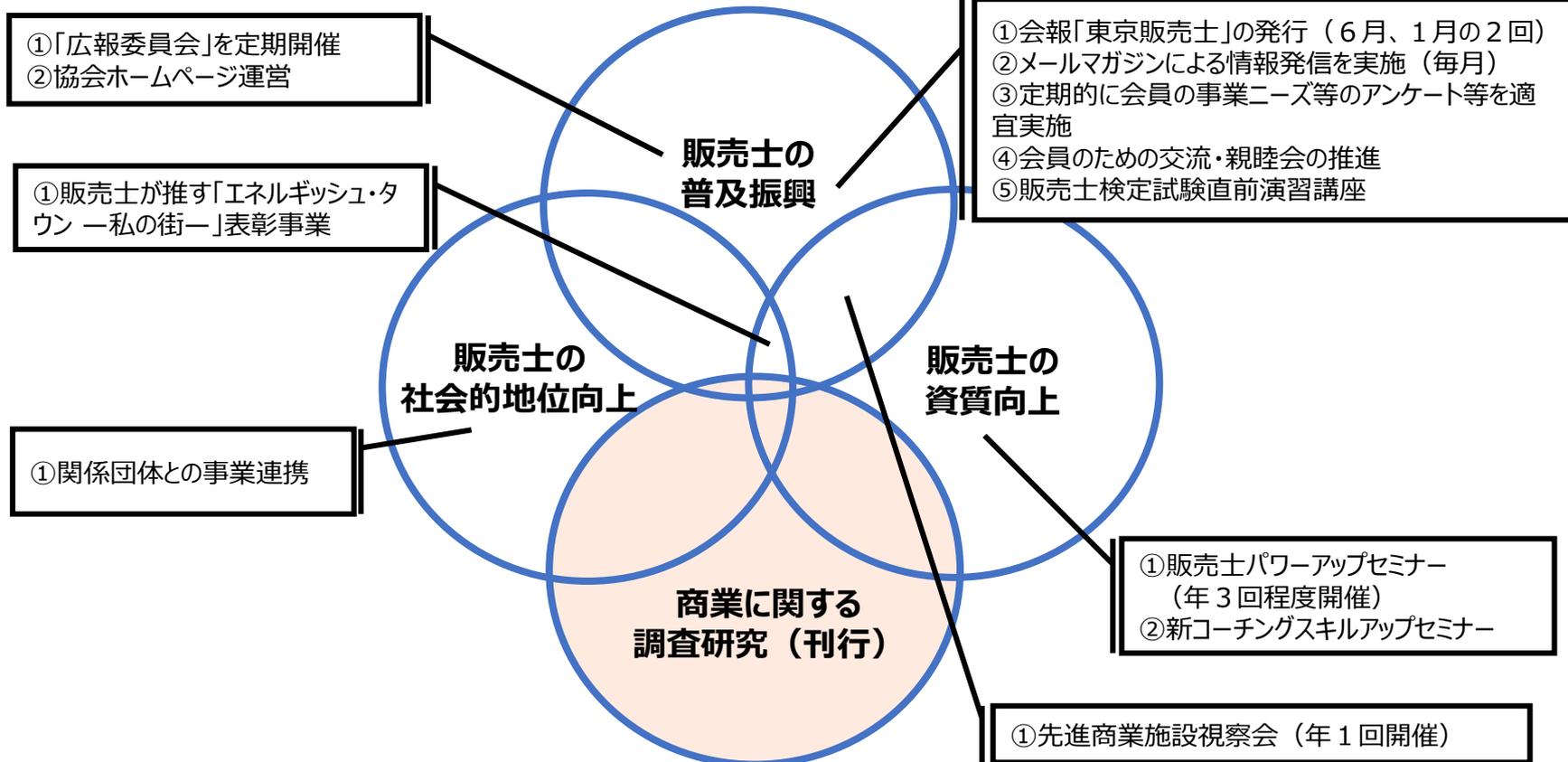


研究会設立企画書 兼 2022年度活動計画書

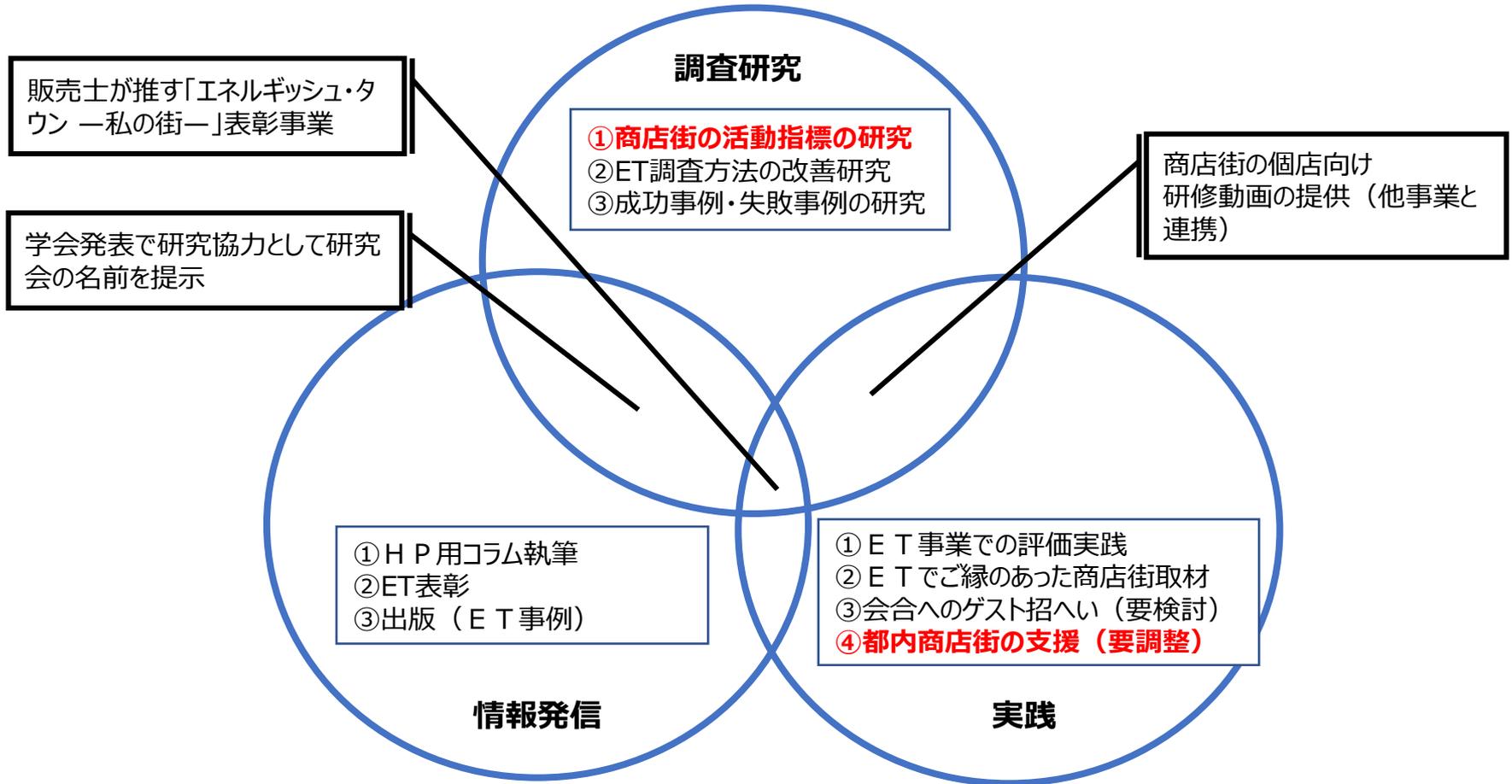
| | | | | |
|--|---|--|--|--|
| 研究会名： | 商店街活性化研究会 | | | |
| 設立趣旨： | ① E T 事業で蓄積されたノウハウを体系化し、都内商店街の活性化に寄与する ② 調査研究を通じ、会員の商業エキスパートとしての成長を図る ③ 研究成果の活用により、E T 事業の更なる進化と深化を実現する | | | |
| 研究内容と活動イメージ | 今年度スケジュール | | | |
| 以下の図の通りの研究・活動を行う。 原則として、月1回の会合と参加者の個人研究により知識と理論を拡充し、E T 事業を軸に実践と知見の深化を目指す。 |  | | | |
|  | 目標成果 | | | |
| ① E T 評価票のブラッシュアップ ② 研究成果の蓄積（今年度はE T 参加者向けの動画コンテンツ）③ E T レポート | | | | |
| 参加者が得られるもの | | | | |
| ① 商店街支援に関わるノウハウの習得 ② 研究会参加者同士及びE T 事業関係者との人脈形成 ③ 実践活動の場を確保（診断ポイント） | | | | |
| 備考・補足 | | | | |
| 商業集積における現場改善のスペシャリスト（小松副会長）、出版流通業界に精通するスペシャリスト（加藤副会長）、商店街支援の研究者（鈴木常任理事）の3名が発起人として、ナビゲートします | | | | |

1 商店街活性化研究会の設立企図

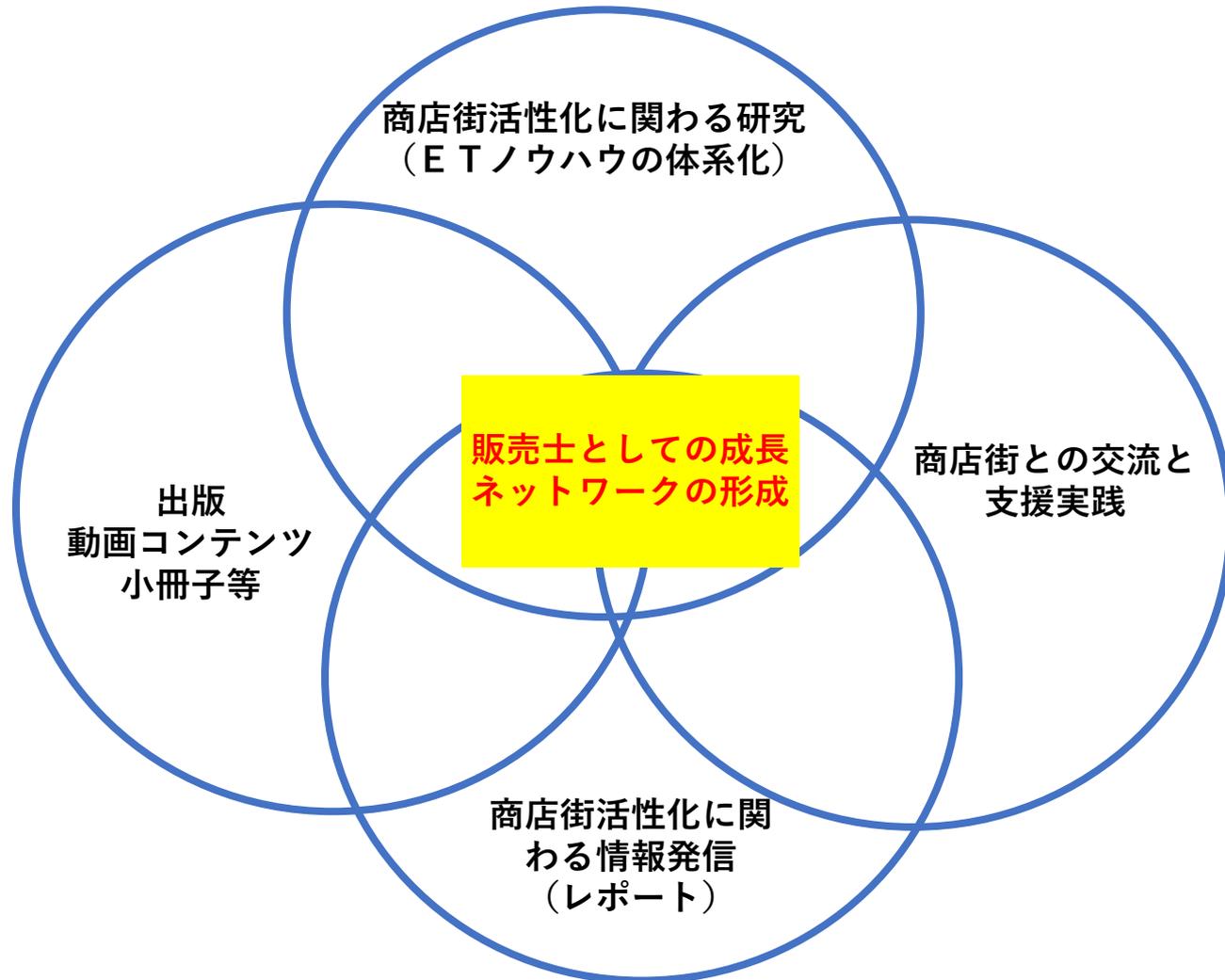
- 現在の東京販売士協会の活動において不足している「調査研究」事業へのテコ入れ
- 各事業の有機的な連携を試験運用する
- 会員の自主的な研究活動拡大に向けた道筋を検討する（モデルケースの確立）



2 商店街活性化研究会の活動



3 商店街活性化研究会の価値イメージ



4 商店街研究会の目指す成果

- 商店街活性化に向けて商店街活動版コンピテンシーの確立⇒研究の深化
- E Tノウハウの体系化と成功事例研究⇒出版
- 商店街とのネットワーク構築⇒フィールド研究の場を確保（将来的な個店診断）/診断士はポイント
- 各参加者のコンテンツ制作のフィールド⇒商店街へのコンテンツ提供（個店支援）



商業集積の研究を通じた、商業エキスパートとしての参加者の成長
商店街とのネットワーク構築と研究会活動を通じた人脈形成
